

経営相談のススメ

～福商伴走型支援 事例紹介～

当所では、事業計画策定や補助金申請、その後のフォローアップを通じ、事業者の経営課題の解決を目指す「伴走型支援」に取り組んでいます。本コーナーでは、当所の支援を通じて課題解決に取り組んだ事業者の事例をご紹介します。



補助金を上手に活用し、 中食事業に挑戦

花山

大正12年、東区宮崎宮の門前に小規模屋台「花山」として創業。2代目（現大将）によって、福岡で他にない大型屋台へ進化。平成30年に屋台から店舗へリニューアル。約30年使用した屋台2台を、そのまま店内に入れ込み、屋台の雰囲気はそのままに新しいスタイルを実現している。

業 種：飲食業 所在地：福岡市東区箱崎1丁目
代表者：花田 博之 44-17
TEL：092-631-1408
URL：https://yatai-hanayama.co.jp/



課 題 ▶ コロナ禍で着手した中食事業、今後の展開を模索

地元の方はもちろん、巨大屋台という特徴から、県外や海外からのお客様も多かった花山さん。コロナ禍で、書き入れ時の放生会や十日恵比寿等の行事が中止に、また外出自粛や観光客減少で売上が大きく減少しました。店内飲食のみというビジネスモデルを変え、中食需要を捉えた新規事業に着手し、人気の「豚骨ラーメン」を添加物なしのインスタントラーメンとして商品化。今後、どうやって新規事業を展開するか悩まれていました。

取り組み ▶ 補助金を上手に活用し、販売強化と商品開発に挑戦

「花山インスタントラーメン」の販売強化と新たなテイクアウト商品の開発に補助金を活用できないか、商工会議所に相談。相談の中で、やりたいことを整理し、ECサイト制作は小規模事業者持続化補助金に、新商品開発は福岡県経営革新実行支援補助金に申請することに。経営指導員や中小企業診断士とともに、現状分析から課題把握、取組内容の整理、効果予測…と打ち合わせと修正を繰り返し、事業計画書を作成しました。



成 果 ▶ 中食市場への本格参入、補助金活用が挑戦を後押し

両補助金申請ともに採択され、「花山インスタントラーメン」は順調に販売数を伸ばしています。また、商品購入をきっかけに来店するお客様も増え、今までにない来店ルートができました。今回の取り組みで大きな可能性を感じた花山さんは、本格的に中食市場への参入を決意。名物の焼き鳥「白（豚モツ）」を自社で商品化する新事業を計画。再び、商工会議所に相談し、事業再構築補助金にもチャレンジ。見事採択されました。花山さんの挑戦は今も続いています。

担当者の声

経営指導員
西田 まゆこ



補助金の申請は、決して簡単なものではありません。花山さんは、このコロナ禍を乗り越えるという強い思いで、時間をかけて事業計画書の作成に取り組まれました。創業約70年、多くの方に美味しい料理と博多の文化、地域の魅力を発信し続けてこられた花山さんを、これからも応援させていただきます。

事業者の声

『現状維持は衰退』

コロナにより、今までの常識が覆され厳しい状況が続いていましたが、その中でも常に変化に対応する思考をずっと行ってきました。具体案はいくらでも出てきますが、それらを『決断し実行』するのが一番難しく、その決断を助けてくれたのが補助金の存在でした。

失敗を恐れるのではなく、挑戦する機会を応援する商工会議所含め関係者の皆様には大変感謝しています。今回の事業を新たな基盤にするために今後も挑戦し続けていきます。

若大将 花田真一郎



経営まめ知識



事業再構築補助金とは

新分野展開や事業・業種・業態転換、事業再編といった思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦に対する補助金。

経営に関するお問い合わせ

地域支援第1・第2グループ
TEL 092-441-2161/2162